DOCUMEN

Oct 2019 2020 Mar



2019 年秋に立ち上がった岡崎市初 / 発、ローカルコンビ ニ「TAC-MATE センガ」の"これから"を考えることをテー マに、クリエイティブ・ディレクション力を高め合うプ ロジェクト「INC」。参加クリエイターの公募開始時から 多くの皆さんに興味を持っていただき、多数の応募者の 中から選考を経て、岡崎市内外から 14 名のメンバーが集 まりました。メンバーらが過ごした短くも濃密な活動の

記録をここに記します。

Phase 0: INC TALK & SALON

説明会&キックオフ

2019年10月~11月

岡崎初/発のクリエイティブ・プロジェクト「INC」。そのメンバー募集にあたる説明会「INC TALK & INC 主催メンバーらと「クリエイティブ・ディレクション」とは何なのか?を主題にとことん語り合う場に

SALON」には多くの参加者が集い、会場は超満員に。ゲストに山本雄平(MAISONETTEine.)をお招きし 予想を超える応募総数の中から、選ばれた参加メンバーは職能もさまざまな 20 代~30 代の個性豊かな男女 14 名。それぞれの自己紹介を兼ねたキックオフ会も盛り上がりました。

Phase 1: Input インプット

2019年11月~2020年1月

店舗プロデューサー・園田崇匡(スタンドそのだ etc)、編集者・野村由芽&竹中万季 (She is / CINRA.NET)、グラフィックデザイナー・原田祐馬(UMA/design farm)、建築 デザイナー・山道拓人(ツバメアーキテクツ)とスタンスもさまざまな豪華ゲストクリエ イター 4 組が登壇。各ゲストが語るこれまでの実績や事例に基づいた貴重なトークレク チャーと、INC メンバー限定の濃厚で刺激たっぷりなワーク。4 組がまるでバトンをつな

Phase 2: Output

2020年1月~2020年3月

いよいよ自分たちがどんな企画を進めていくか、という本題に入るためのフェーズへ。出されたアイデアを ブラッシュアップしながら、企画別にメンバーが集まりチームを結成。主催メンバー含め、互いに(日々 Slack も活用し)濃密なディスカッションを重ねていきました。途中、特別ゲストに編集者・多田智美さん (MUESUM) を迎えるなどし、一定の緊張感と熱量を帯びつつ、岡崎のとあるコンビニを拠点に生まれたクリ エイティブ・コミュニティ「INC」は最終プレゼンへ。

Phase 3: Presentation 発表

2020年3月20日 **開催中止

最終回はプレゼン大会の予定でした。が、新型コロナ ジェクトを裏面にてご紹介しています。ぜひチ:



inc-okazaki.com

© INC. All Rights Reserved.





Projects

提案プロジェクトの紹介

残念ながら、フェーズ 3 Presentation は開催することができず、リアルなプレゼンの場はなく なりましたが、各メンバー/チームの成果として提案予定であったプロジェクトの説明資料をこ こに掲載します。もし、あなたが「INC」メンバーなら、どんなことを企画しますか? 気にな るプロジェクトがあれば、「INC」事務局へ、もしくはメンバーにご連絡くださいませ。









小林 知史 Chifumi Kobayashi 担当:進行ディレクション、企画、 ライティング

クリエイターが"不在" でも店舗の PR はでき るのか

人口の減少が激しい地方で、事業経 営がどんどん苦しくなる現代、店舗 運営において無料ツールの Web イン フラを活用するだけでもファンづく りや集客はできるものです。これは 地方の抱える課題を解消する一つの 方法ですが、世代の違いや Web リテ ラシーの問題で、そういったツール を知らなかったり、活用できずにい る方が多くいます。そこで地域での PR をする我々が、別の地域で PR を できないか?というアプローチを考 えました。

Project Name: NON AIR



りするラジオ局を開設





文化体験蓄積型コンビ ニエンスストア

新しいカルチャーを含むイベントを タックメイトで開催し、当日の模様 写真・記事に残し、蓄積していく。 蓄積した物は商品化して店頭で販売 し、イベントの追体験ができるよう にする。まだ面白いと思えるものに 出会えていない人にとっても、タッ クメイトが刺激的かつ安心できる居 場所となり、日々生み出し続けてい るアーティストにとっても新しいカ ルチャーが生まれるときめく場所に なりますように。



斎藤 礼央 Reo Saito 担当:プロジェクトデザイン



フリーター (club Mago スタッフ) 柴田 悠貴 Yuki Shibata 担当:写真・企画

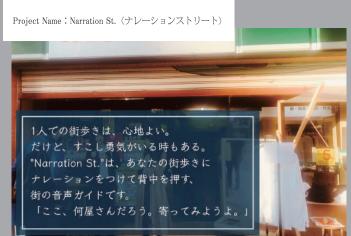


中島 かおり Kaori Nakashima 担当:企画·記事編集 https://7nky.tumblr.com/



足立 泳美 Eimi Adachi 担当:企画・デザイン

実際に稼働予定です。



主役はまちで暮らす

人。まちの魅力に出会

子どもの頃に集めていた人も多いで

あろう、プロ野球チップスのおまけ

のカード。「もしこのカードがプロ野 球選手ではなく、まちの人だったら

面白いのでは・・・?」という妄想

を実現するプロジェクトです。この チームでは、岡崎市の QURUWA と呼 ばれる地域の人を対象にしたカード

を作り、プロ野球チップスのまちの

人版「QURUWA! アド街ップス」とし て、TAC-MATE で販売する企画を考

えています。

えるカード



Project Name: QURUWA! アド街ップス





小野 恭平 Kyohei Ono 担当:企画・撮影・デザイン・取材

Project Name: MyOur PUBLIC









小さな挑戦のための

挑戦を応援するための仕組は、経済

面ではクラウドファンディングの登 場とともに一般化してきました。

White Circle では「場」を提供する仕

組作りをします。店舗の軒先、公園や

公共施設の一角など、遊休地を White

Circle メンバーで自己開拓し、挑戦す

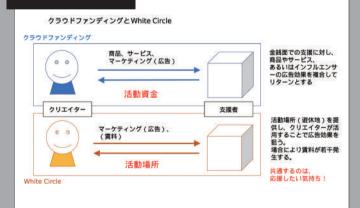
る人をサポートするとともに、場の

提供者(応援したい人)の気持ちを

形にします。

「場所」を見つけます

Project Name: White Circle





留学会社経営 佐藤 渉 Wataru Sato 担当:企画、リサーチ、実行 https://spain.lca-ryugaku.jp/

